

社会福祉法人 東京緑新会 ケアコミュニティ みちふの森

木のやさしさに包まれる レジリエントな福祉施設

調布飛行場に隣接する「みちふの森」は、医療的ケアが必要な障害のある方々に対応する福祉施設。木造の3階建てで「切妻屋根と大きな窓が印象的なファサードをはじめ、木質感を基調に五感に働きかける内装で、福祉施設らしさを感じさせないようにした」と建築家 加藤陽介氏（株式会社楓設計室）。施設を利用する本人や、その家族目線で「通いたい」と思える空間を設計した結果だ。1階と2階の天井には不燃軽量造作材「エアライトルーバー」を採用し、実材の木を使えない制約下でも、木質感を担保しつつ、ホテルのような印象の空間に仕上がっている。

重要なレジリエンス機能として先進的な耐火構造により、高い耐震・防火性能を確保しており、避難が困難な利用者を考慮して設計されている。運営面では、入浴介助を効率化する高齢者施設向けユニットバス「アクアハート F-eX」や天井走行リフトを動線に設置するなど、先進的な福祉施設として、人材確保が困難になりつつある運営サイドの負担軽減にも寄与する。

施設見学会での喜びの声や多数の問い合わせなど、利用者や地域の期待も大きく、社会福祉法人東京緑新会「みちふの森」所長 仲田素直氏は「目の前で離陸する飛行機のように、利用者の皆さまの気持ちが飛び立つような施設をめざしたい」と語った。



©Naoomi Kurozumi

所在地 / 東京都調布市西町
事業主 / 社会福祉法人東京緑新会
設計・監理 / 株式会社楓設計室
施工 / 株式会社トーヨー富士工
竣工 / 2026年2月

WEBサイトでも
ご覧いただけます



空間のあらゆる箇所に木質感があふれる2階のリビングルーム。天井には不燃軽量造作材「エアライトルーバー」を採用し、空間に個性を演出



機械浴槽が設置された高齢者施設向けユニットバス「アクアハート F-eX」にも木質感のある壁柄を採用し、施設全体と統一感のあるコーディネートに



内装ドア「VERITIS」は車いすで通過できるような開口の広い引戸タイプを採用



個室内はシステム収納「キュービオス」とアクアハート洗面を同系色でプラン



参考画像
介助をサポートする天井走行リフト（他社商品）

主な納入設備

- 不燃軽量造作材「エアライトルーバー」
- 高齢者施設向けユニットバス「アクアハート」
- アクアハート洗面 ● 内装ドア「VERITIS」
- 「キュービオス」 ● 「アラウーノ」